



人類に奉仕する  
ロータリー



# 「地域社会にロータリークラブを広げて行こう」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：ジョン・ジャーム 2800地区ガバナー：長谷川憲治 ガバナー補佐：長沢 一好  
会長：寺崎 利彦 幹事：浅野 裕幸 会報・史料委員会 委員長：佐藤 直人  
委員：金田 亮一 新野 義章 山田 仁

## RI会長メッセージ



### 「人類に奉仕するロータリー」

2016-17 年度国際ロータリー会長

ジョン・ジャーム 氏

111年の歴史の中で、ロータリーは多くの人に多くの意味を持ってきました。会員は、ロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びととの絆を育み、キャリアを築き、ほかでは味わえない貴重な経験をしてきました。毎週、世界 34,000 以上のクラブのロータリアンが、語らい、笑い、アイデアを分かち合うために集います。しかし、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためです。

ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。今日の世界で意義ある奉仕を行う最善の道はロータリー会員になることであると、私は信じています。また、世界に確かな変化をもたらすために、ロータリーほど優位な立場にある団体はないと考えています。さまざまな分野から熱心で有能な職業人が集まり、壮大な目標を実現できる団体も、ほかにありません。ロータリーには、世界を変える力、ネットワーク、知識の結集があります。ロータリーに限界があるとしたら、それは私たちが自分自身に設けている限界にすぎません。

現在、ロータリーはとても大事なときを迎えています。今はいろいろな意味で今後を決定づける歴史的な節目です。私たちは力を合わせ、世界に重要な奉仕を行って来ました。そして、今、世界の行く末は、私たちのさらなる奉仕にかかっています。世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となるために、固い決意と熱意でポリオ撲滅を成し遂げ、勢いをつけてロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍する 때가来たのです。

ポリオ撲滅から私たちが学んだ多くのことの中で、最も大切ながら最もシンプルなこと、それは、ロータリー全体の発展を望むなら全員が同じ方向に進まなければならないということです。クラブ、地区、RI のレベルにおけるリーダーシップの継続は、ロータリーを繁栄させ、その秘めたる可能性を最大限に発揮する唯一の方法です。新会員の入会や新クラブの結成だけでは十分ではありません。私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなるロータリアンを増やすことです。

ポール・ハリスは晩年、ロータリー設立の経緯について振り返り、次のようにつぶっています。「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」。いつの日か120万人以上のロータリアンが一体となり、ロータリー財団や各自のリソースを駆使して人類への奉仕に取り組むことになるとは、ハリスも想像しなかったでしょう。そのようなロータリーに対してハリスがどんな奉仕を期待するのか、私たちは想像するしかありません。「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承する名誉を授けられた私たちには、このような奉仕を行っていく責務があるのです。

心を込めて

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



## 地区テーマ

# 「ロータリーの意義・魅力の再発見と奉仕・友情・自己研鑽の実践を」

国際ロータリー第2800 地区  
2016-17 年度ガバナー

## 長谷川憲治氏

1905年シカゴにロータリークラブが誕生し、今年で111年目を迎える訳ですが、順調に発展・拡大を続けてくる事が出来たのは、当初の理念の正しさとロータリーが本質的に備える魅力や意義の反映だと思えます。

しかし半面、近年は多くの問題も浮き彫りになってきております。特にクラブ数・会員数の減少は深刻な問題です。当2800地区でもピーク時に比べ、クラブ数は▲7クラブ(▲12.3%)、会員数は▲884名(▲34.8%)と大幅に減少しております(2016.3.31現在)。経済環境の厳しさ等理由は色々ありますが、より一層重大だと思えるのは「ロータリーに魅力を感じない」「ロータリアンでいる事に意義を見出せない」等の声も聞こえる事があります。

事実、出席メンバーが固定化しマンネリ化している例会運営、折角の新入会員も短期間でスリーピング化や退会に陥る事例、意義ある活動にも参加者は一部のメンバーだけで他の多くのメンバーは無関心…等の話をよく耳にします。更には、ロータリーに対する世間一般のイメージは、「お金持ちの仲良しクラブ・道楽クラブ、お金を出して社会奉仕している団体」等で、一般の方々には敷居が高く、折角有意義な活動をしているにも拘わらず評価も尊敬もされていない…等々多くの問題を抱えている事も事実であります。

それでは、ロータリーは意義や魅力や存在価値を失ったのでしょうか？私は、そうは思いません。間違いなくロータリーは、世界的に意義ある活動を続け「世界のために良い事をしてきた」素晴らしい団体だと思えます。ポリオ撲滅運動しかり、世界各国・各地への貢献しかり、米山奨学生制度しかり…であります。

Ex. \*ポリオ……30年前に取り組んだ時は世界125ヶ国に35万人の患者  
→25億人

もの子供達に予防接種を実施→世界で2ヶ国51人の患者にまで減少。  
撲滅まであと一歩！“End Polio Now!”

\*世界各国・各地への支援……当地区でも素晴らしい活動を展開。  
しかも、それらの活動を通じ友情が育まれ、自己研鑽にも繋がる。  
\*米山奨学生……全国で730名、県内で9名の奨学生をお世話。

その様な意義ある活動に加え、ロータリーには地区内外を問わず真のロータリアンと呼べる高潔で高い倫理性をお持ちの素晴らしいメンバーも数多く居られます。そんな方々と大会や例会、セミナーや事業の実践等を通じ、交流や友情が生まれ、刺激を受けモチベーションが上がり、自己研鑽を図る事も出来ます。つまり、一叩きで申し上げるなら、ロータリーほど良きメンバーに恵まれ、奉仕と友情と自己研鑽を同時に実現出来る団体は他に無いのではないのでしょうか。酒井ガバナーも述べておられる通り、スタンドからグラウンドへ降りて真摯にロータリー活動に取り組んで頂けたら、その意義や魅力を再発見して頂けるのではないかと思います。

現に、私がそうであります。5年前までの私は、ロータリーの何たるかも、意義も魅力も分からない普通の会員でした。しかし、4年前にクラブ幹事、以来副会長、会長エレクト、そして会長と同時にガバナーノミニ、と立て続けに要職を拝命し、自分なりにロータリーを勉強し、地区内外の多くのセミナーや行事、委員会活動等へ参加して参りました。その結果今では、ロータリーが実に素晴らしい団体であり、その会員として行動する事が多くの価値をもたらしてくれる事を知りました。ロータリーには崇高な哲学と素晴らしい実践の歴史があります。是非、その良さを再発見して頂ければと思います。

今回、国際協議会に出席し、私は改めてロータリーは実に素晴らしい団体で、本当に「世界のために良い事をしてきた」世界

に誇れる団体だという事を再認識・再確認してきました。その結果、恥ずかしながら初めてロータリアンでいる事に誇りを感じております。と同時に、是非地区内の皆さんにも同じような認識と誇りを持って頂きたいものだと思っております。そして、胸を張って「私はロータリアンです。ロータリーは世界のために、こんな良い事をしています。だから貴方もロータリークラブに入りませんか?」と言って頂けるような地区にしたいものだと願っております。ロータリーには新しい出会いがあり、新しい感動があり、新しい満足があります。是非、真摯にロータリー活動に取り組んで頂き、その素晴らしさを実感して頂ければと思います。

そして、世界のために良い事をしてきたロータリーの良き伝統を引き継がれ、真摯にロータリー活動に取り組み、ロータリーの意義・魅力を再発見して頂き、奉仕・友情・自己研鑽を同時に実現出来る価値あるロータリーライフを送られますよう、心から念願しております。又、各クラブが益々活発で有意義な運営をされますよう、地区として全面的にお手伝いをして参りたいと考えております。そして、その事がひいては、地域社会の活性化・発展に寄与する事になればと思っております。そんな想いで次年度へ臨みたいと考えておりますので、宜しくご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ◆具体的目標◆

#### 1. 例会の充実

- \* 楽しく充実した例会こそロータリー活動の原点
- \* 会長挨拶への真剣な取り組み、有意義な講師卓話等例会内容の充実を
- \* 交流と友情を深める運営の工夫 etc.

#### 2. 会員の増強と育成

- \* 真のロータリアンになれる候補者の勧誘
- \* 推薦人による責任を持った指導・育成

#### 3. ロータリーのイメージ向上

- \* 社会的に意義ある活動、「世界に良い事をしてきたロータリー」のPRと認識の徹底
- \* 「ロータリーデー」の奨励
- \* 世間一般のイメージの打破を

#### 4. 各種行事への積極的参加の推進“クラブから外へ出てみよう”

- \* 世界大会・地区大会(他地区の大会も含め)、各種セミナーや行事、姉妹クラブ訪問、地区への出向 etc.

#### 5. 財団と米山奨学会への寄付の推進と啓蒙

- \* 2016-2017年度は財団創設100周年という節目の年で、且つ池田直前ガバナーがロータリー財団地域コーディネーターへ就任されるという記念すべき年
- \* 財団と米山奨学会の意義の理解と寄付意欲の醸成
- \* ポリオ撲滅への協力“End Polio Now!”

#### 6. 奉仕活動の更なる充実

- \* 各クラブが少なくとも1つの奉仕活動の実践を
- \* 県民から「流石はロータリー!」と評価して頂けるような奉仕活動を

### ◆数値目標◆

- 各クラブ1人の会員数純増、年度末で1,700名を目指す(16.2.29現在1,664名、あと36名の純増)
- 財団への寄付 150\$ /人/年 (財団創設100周年で、池田直前ガバナーがロータリー財団地域コーディネーターを務められる次年度こそ達成を!)
- 米山奨学会への寄付 15,000円 /人/年